

# ワクワク・ドキドキ・感動は すべての人に与えられた権利である

心魂総合プロデューサー 寺田 真実

「交流協会では、日台交流に有意義な催しに後援助成・名義を付与する形で協力しています。ここでは、難病の為に長期入院をしている子供達とその親御さんに、生きる喜び・楽しさを届けるため、病院等でのミュージカル・パフォーマンスを続けている心魂プロジェクトの、台湾の病院での活動をご紹介します。」

劇団四季出身俳優・宝塚歌劇団出身俳優を中心に様々なジャンルのアーティストがタッグを組んで主に難病のこども達・ご家族にオリジナルミュージカルやソング&ダンス、和太鼓での夏祭り等のパフォーマンスをデリバリーする活動団体・NPO 法人心魂(こころだま) プロジェクト。

私達は中々プロの舞台に触れられない人にこそ生身のアーティストが放つパワーをデリバリーしたいと願い2014年1月に活動を開始致しました。

皆様初めまして。心魂プロジェクト総合プロデューサーの寺田真実(てらだまさみ)です。

私達は先日台湾の病院で病氣と戦っているこども達、ご両親、病院スタッフにフラッシュモブスタイルのソング&ダンスをデリバリーして参りました。

台北・淡水・新竹・台東にあります Mackey Memorial Hospital 様の病棟、ロビー、礼拝堂、老人ホームで合計10回公演。

そしてこの活動を今後台湾で継続的に行って行く為に上演致しました台北・高雄・台中日本人学校様での合計4公演。

高雄日本人会様に後援を頂きまして高雄市・台南市では一般公演を2回、合計19日間16回公演(8月27日~9月13日)のツアーでした。

台湾ツアーメンバー

有永美奈子 心魂代表理事 宝塚歌劇団・劇団四季出身俳優

岩瀬 貴浩 心魂音楽監督 作曲家・編曲家

岩本 潤子 劇団四季出身俳優

大塚 俊 劇団四季出身俳優

齊藤 志穂 心魂東北担当 ジャパンアクションクラブ出身武術家

武田 桃子 心魂アートディレクター ミュージカル女優

千代園 剛 和太鼓奏者

寺田 真実 心魂総合プロデューサー 劇団四季出身俳優

(以上8名)

今回の心魂プロジェクト台湾ツアーは『公益財団法人 交流協会』様より御協賛を頂きました。企画開始当時、活動を立ち上げて一年半の私達が三週間近い台湾ツアーを組むことが出来たのは、交流協会様の御協賛と言うことで信用を得た部分がとても大きかったです。この場をお借りし改めまして感謝申し上げます。

私達の活動に大きな羽を与えて下さり本当にありがとうございます。ゼロが一になり、一が百となるような活動をさせて頂きました。今後ともど



1. 馬偕記念病院・新竹院区、小児病棟内での公演フラッシュモブの一部。女医が突然踊り出しパフォーマンスに加わる瞬間。

どうぞ宜しくお願い致します。

台湾ツアーの活動報告を始める前に私達がどんな想いでこの活動を始めたのかお話しさせて下さい。その想いがやがて台湾まで翼を広げることになりました経緯を…。

【こどもの笑顔はお母さんの笑顔を生む】

【お母さんの笑顔はこどもの笑顔を生む】

皆さんはきっと当たり前的事だとお思いでしょうね。ですが難病のこども達の家庭では簡単な事では有りません。日々の大変な生活に追われてお母さんだけでなくお父さんも兄弟姉妹も家族皆が【笑顔】と言う表現から離れて行ってしまいます。私達は活動を開始して22ヶ月間、多くの尊い命と出会って来ました。素晴らしい家族と出会って来ました。家族で手を合わせて壁を一つ一つ越えて行かれる姿に何度も出会って来ました。

重い病気を抱えた多くの皆さんは気軽に家族で舞台を観に行けません。いや、舞台に限らず旅行や外食だって簡単には出来ません。外出も。

私は劇団四季で3000回以上の舞台（オペラ座の怪人・美女と野獣・キャッツ等）に立って来ましたが、観に行きたくても行けない方が世の中には沢山いらっしゃる事を改めて痛感した22ヶ月間



2. 馬偕記念病院本院（台北）小児病棟の廊下での公演。皆で子ども達が大好きな音楽で歌って踊る様子。

でした。中々舞台を体感することが出来ない人にほどプロの本気の舞台が必要です。家族で作る思い出、支えてくださる方々と作る思い出が本当に大切です。

病気の有無に限らずどんな人にとってもシンプルに『今日を生きよう』と言うモチベーションを持つ事は本当に大切な事です。心魂プロジェクトの活動がそのモチベーションを生む一つのきっかけになって欲しいと願って私達は難病のこども達・ご家族にパフォーマンスをデリバリーする活動【心魂デリパフォ】を行っています。

心魂プロジェクトは毎月平均4回前後、病院や施設、病児の団体、統合保育園、特別支援学校等に無償、ないしほぼ無償の心魂デリパフォを行っております。詳しくは心魂公式ホームページ <http://cocorodama.webcrow.jp> をご覧ください。

(心魂公式 Facebook ページ <https://m.facebook.com/cocorodama> では常に最新の活動報告をご覧ください。)

私達の本拠地は神奈川・横浜に有りますが活動エリアは関東に限らずこの22ヶ月の間に北から福島県・宮城県・新潟県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・愛知県・京都府・大阪府、長崎県そして台湾で心魂デリパフォをして参りました。2016年は北海道や熊本県にも活動の輪を広げて行く予定です。

### 【会場に来ていただくことは難しい】

#### 《《それなら私達が行く》》

私達は使命感を持って突き進んでおりますが、劇団四季の頃と違って毎回公演をする場所は様々です。大きい病院内イベントスペースの事も有れば、病棟の廊下、場合によっては病室と与えられた環境は毎回違います。劇団四季時代は俳優は役を体に叩き込んで体調管理さえすれば大丈夫でしたが活動資金が常にギリギリな状態で運営されている心魂では俳優が舞台の設営から音響セッティングまで全てをやります。

台湾ツアーでは劇団四季ミュージカル美女と野獣でメインキャラクターのポット婦人を演じていたメンバーが照明をしながらコーラスをしました。劇団四季では考えられないような事も《《私達が行く》》と言う想いでメンバー全員が動いています。

今私達が行ってる活動の難しさ、それは患者さんによって様々な工夫をしなければいけない事です。こんな事が有りました。PA 機材をセッティ



3. 馬偕記念病院・新竹院区、ホール公演。【デリバリーオブデリバリー】

1人1人の手を握りながら歌う様子

ングしていざりハーサルを始めたら、「今日大きな音を聞くとひきつけを起こしてしまう子が来ることになったので音は抑えて欲しい」とリクエストが入り、急遽スピーカーを使わずに生声で行う公演に変更しました。とは言いましても会場は大きいので皆が楽しめる様に生声のバランスを自分で調節しながらの公演で相当神経を使います。又こんな事も有りました。空気感染が有ると命に関わるのでガラスのこちら側からパフォーマンスをするような公演。どうやったらガラスを通して熱量が伝わるのか。その回の公演から見て楽しめるキャラクター達が心魂に生まれて行きました。

私達にとってもっとも大きな挑戦は一番最初にやって来ました。

通常ミュージカルでは『演じる側』と『客席』には壁が有って我々演じる側は【見せる踊り・芝居】【聞かせる歌】をしています。一度に1000名以上のお客様に楽しんで頂くにはそのスタイルが一番平等であり、効率的です。

私達も一回目の心魂デリバリーパフォーマンスで舞台上からのミュージカルをしました。お客様の中には重症心身障害の方々が沢山いらっしゃいました。



4. 馬偕記念病院本院（台北）公演が終わり、一緒に公演を作り上げて下さった病院スタッフと心魂プロジェクトメンバー全員で撮った記念写真。

車イスに座ったり、会場に敷かれたマットに横になってらっしゃる方々。患者さんご自身が見る場所を選んだ訳では有りません。重症心身障害とは重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態の方々です。

心魂一回目のデリバリーパフォーマンスで私達は見せる踊り・芝居、聞かせる歌を舞台と言う遠い場所からやっていたのでは駄目だと強く感じました。皆さんの心に響いてないのが手に取るように分かったからです。

今までやって来たことが通用しない事を痛感しました。どうしたら良いのか？

第二回目の心魂デリバリーパフォーマンスを上演する前に私達はある病院でスヌーズレンと言う活動に出会いました。

病院にはスヌーズレンの部屋が有りそこにはどんなに障害が重い人達でも楽しめるように、光、音、におい、振動、温度、触覚の素材等を組み合わせた楽しい物達が一杯あります。

五感を刺激し、五感で楽しめる部屋なのです。

【これだ！！】

より五感を刺激するパフォーマンスへのシフト

チェンジです。

私達は舞台に全員居てパフォーマンスするスタイルから一人一人の目の前に飛び出して行くパフォーマンススタイルへと大きく舵をきりました。勿論誰かは前に残ってパフォーマンスをしていますが、他のメンバー全員が客席を舞台に変えます。

【一人一人の目の前で繰り広げられる踊り・歌】ダンサーが踊ると様々なアロマの香りも踊り、こども達の手を握るとギュって握り返してきます。音に反応し虹色に光るキラキラライトを目で追うこども達。

【デリバリーオブデリバリー】

パフォーマンスを会場にデリバリーするだけでなく一人一人の元にパフォーマーが更に飛び出して行く心魂のパフォーマンススタイルが生まれました。するとどうでしょう、会場中の空気が一斉に呼吸し始めました。それは感動の瞬間でした。私達が必死に鍛え上げて来た技術がやっと社会に真の意味で必要とされる事を実感した瞬間でした。

一つの情報を多くの人が共有する時代、そこに体温が有るか無いかは置き去りにされ、利益追求の為に効率的に生きることを求められる日本で私達がしていることは真逆に向かっています。効率も非常に悪い。ですが、人は機械では有りません。私達は一人一人に向かっていく表現スタイル、そしてそれを支える心のデリバリーを追求して行きます。

今は活動資金に限界が有るために無償での活動は難病のこども達に関係する公演のみとなっていますが、高齢者施設や養護施設等中々生の舞台に触れられない方々へプロが本気で行う心魂デリバリーには多くのニーズが生まれてきています。

心魂プロジェクトは定期的に一般有料公演を開催し、その収益を使って無償の活動をしています。

又最近は高齢者施設での有料公演・ロータリークラブ公演・学校での芸術鑑賞・企業での社員教育・看護学校での講演等の依頼が増えました。その収益も活動資金の一部となっております。今年6月末に『NHK・おはよう日本』で十分程紹介して頂いた頃から多くの支援を頂くようになりました。成熟した日本の社会にあって開拓者として生きれること、そして豊かな出会いに恵まれている事に深く感謝しながら私達は今を生きています。走りたての私達が今回の台湾ツアーで交流協会様からの御協賛と助成を頂いた事も本当に感謝な出来事でした。

私は両親の仕事の関係で5歳から15歳までを台湾で過ごしました。

両親は基督教の宣教師でしたので一般的な海外駐在の日本人家庭に育つことも達とは違って台湾の方々の中で育ちました。私の体は台湾の食物で育ち、私の心は台湾の方々の想いの揺りかごで育ったのです。

中学校を卒業した後一人親元を離れ帰国し、青山学院大学を経て時計メーカーCITIZENグループ企業で中国語を生かして海外営業マンをした後、脱サラをして劇団四季に入団しました。

そして四二歳の時に劇団四季を退団して心魂プロジェクトを立ち上げました。脱サラした時も、独立した時も多くの人は私の決断を理解はしませんでした。

#### 【何故経済的安定を捨てる？】

しかし、私が自分の人生に対して守りに入らず常に攻め、信念を貫く人生を選んで来た結果、最も私らしく生きることが出来る道に会い・生まれてきた意味に出会うことが出来ました。それが心魂の活動です。

そして、守りに入らずに攻める姿勢を最も学んだのは台湾です。

振り返ってみると台湾で出会った多くの人々が私



5. 馬偕記念病院・新竹院区、ホール公演。基督教の病院という事で総合プロデューサーの寺田真実がゴスペルを歌う様子。

の心を磨いてくれたと感じずにはいられません。ですから私は心魂プロジェクトを立ち上げた時に必ず台湾への活動もすると決めていました。私に出来ることを台湾へ。

台湾の病院ではまだ子ども達に向けての様々な活動は多くありません。日本でもそうですが、病院は一般的に我慢をする所になっています。

でも、何回も何回も治療を受けるにはモチベーションを上げることが必要です。毎日単調に続く病院生活の中で私達の様に外から新鮮な空気を病院に持ってくる活動はモチベーションアップの為にとても重要です。

#### 【病院にも楽しい事が有る！】

そう感じる事はとても大切です。

私達は2015年1月に6名で初めて台北 Mackey Memorial Hospital 様に心魂デリパフォをしました。その時は病院側スタッフもそう言った活動に慣れていない状況でした。勿論患者さんの方も同様で私達が病棟の廊下でパフォーマンスを始めるまで誰もドアを開けません。でも、パフォーマンスが始まり歌が聞こえて来ると少しずつドアが開きひょっこりと子ども達が顔を出す。

『私も大きくなったら踊ったり歌ったりする人になりたい』と言ってくれた少女の言葉に大きな勇

気を貰いました。

私以外のメンバーは中国語を話せませんから生演奏・ダンス・踊りを組み合わせ、言葉が分からなくても必ずこども達が知っているディズニーソングを多く使用してパフォーマンスを構成しました。不安が無かったと言えば嘘になります。受け入れて貰えるのか？

ただパフォーマンスをしながら見えたのは日本で重症心身障害の方々と言葉は必要ない部分で繋がって来たと言う景色です。言葉は話せたら良いかもしれない、でも人と人は心で感じ合う事が出来ます。そしてそれこそが最も素晴らしい事だと重症心身障害の方々に教えて頂きました。ですから結果的には皆自信を持って台湾第一回目の心魂デリバリーパフォーマンスをしました。その時に私達のパフォーマンスにとっても感動して下さった副院長がおっしゃって下さった言葉

『次は台湾国内の移動費と宿泊費を病院が負担するから四つの地域の病院に来て欲しい』

その日から第二回目・夏の台湾ツアーに向けての準備が始まりました。

一番怖いのが費用を抑える為に一回目の時は一日に一便しか飛ばない格安フライトを使いましたが台風シーズンに一日に一便しか飛ばないフライトを使った場合は何か有った場合は台湾にさえ行けないと言う事です。又第二回目は長い日程を組むことになりましたから体力的にきつくなる時間に日本を出発するフライトを利用すると歌い手の声の質が落ちたり、ダンサーが怪我をしやすい状況を作ってしまう。一般の方々には中々ご理解頂けませんが、プロのパフォーマンスは繊細なバランスの上に生み出されています。

私はプロデューサーとしてそこを何とかしたかった。

そこに交流協会様から助成金を頂けるとのお知らせを頂きました。本当に感謝でした。助成金を



6. 馬偕記念病院・新竹院区、ホール公演。ミュージカルナンバーを歌い踊る様子。

使って一日に何便も飛んでいる JAL を利用し、体力が守られるフライトで台湾入りできた事は私達に大きなアドバンテージを与えてくれました。

第二回の台湾ツアーで私達が加えた新しい演出はフラッシュモブ。

女医や掃除の叔父さん、妊婦に扮したフォーマーがお客さん側に紛れ、タイミングが来るといきなり芝居をしながらパフォーマンスに加わって来ます。新しく驚きが増えた心魂のパフォーマンスにどんどん人混みが増えこども達だけでなく家族の歓声が沸きました。

一緒に歌い出すこどもと共にどんどん集まる看護婦さん達。

二回目の台湾ツアーを終えて副院長は今度はこうおっしゃいました。

『病院には踊ったり歌ったりが得意なスタッフが沢山居る。私たちもトレーニングをしてこども達にパフォーマンスをする。』

日本でも聞いたことの無いようなアイデアを口にされた事が本当に嬉しかったです。近い将来病院スタッフの皆さんとのコラボレーションをするかもしれないと楽しみにしています。

2016年夏に台湾にデリパフォを行う予定です。こう言った活動は通常海外から日本に入ってきた

す。ですが私達はプロのアーティストが本気で進めるデリバリーパフォーマンスと言う活動を日本で磨いて輸出して行きたいと願っています。ミュージカルと言う総合芸術と日本人が持っている【思いやり、寄り添う】と言う才能を融合させて心魂デリパフォは進んで参ります。

私達のような活動がプロのパフォーマーからどんどん生まれる事を祈りつつ

心魂プロジェクト総合プロデューサー  
寺田真実



7. 馬偕記念病院さんが作成して下さいました、チラシ



皆さま初めまして、【特定非営利活動法人 心魂プロジェクト】代表理事の有永美奈子です。九月の台湾ツアーを終えたすぐあと「心魂プロジェクト」は正式に認証を頂き NPO 法人として新たな一歩を踏み出しました。

全国の病院や施設などから毎日の様に届く「私達の所に来てほしい！」のお声にお応えできる様、今必死でこの活動を強く確かな物にする為の組織作りを行っております。

日本・関東を中心に活動を行う中で、先日の台湾ツアーは新たな気づきや学び、成長の機会を得る事が出来ました。

今回伺った Mackey Memorial Hospital さんでは、私達を迎える為に四病院の間で何度もテレビ会議を行い準備をして下さいました。日本にいる我々とも何度もメールのやり取りを行い、必要な機材

を用意、公演を行う場所や時間の相談など細かい事まで綿密に打合せを重ねて参りました。それを踏まえ私達も公演プログラムを全て用意してからの台湾渡航となりました。

しかし実際に現場の雰囲気を見てみると準備してきた公演プログラムでは十分に喜んで頂く事が出来ないと気が付きました。

『年齢層・音響の環境・病棟の雰囲気・患者さんの症状』それらを考えて毎回公演内容を決めています。しかし、台湾ではそれだけでは足りませんでした。

『国民性の違いや馴染みのある曲の違い、ご年配の方々は歴史的な背景』などなど・・

一日目の公演を終えお客さまとなる患者さん達の反応を見た結果、日本から用意した全てのプログラ

ラムを白紙に戻し作り変える事を決めました。  
「喜んでもらいたい」という想いは一つですので、  
反対するメンバーは1人もいません。  
その日から毎晩ホテルでのミーティングが恒例と  
なりました。

例えば、台東の病院では朝八時から、計4回の公  
演を場所を変えて行いましたが、全て対象となる  
方々の年齢層も、症状も、環境も上演時間も違  
いました。  
そこで全ての公演の構成・曲目・内容を違う物に  
する事にしました。

そうして行われた病院での公演【デリバリーオブ  
デリバリー】。お一人お一人と、手を握り温もり  
を分かち合いながらのパフォーマンス。

子ども達は、はにかみながら笑顔でハイタッチを  
してくれました。  
ご年配の方々は、ギュッと力強く手を握り返して  
「ありがとう」を伝えて下さいました。  
病院スタッフの方々は一緒に・・・いや誰よりもノ  
リノリで楽しんで下さいました。  
そしてお母さん・お父さんたちは子供の笑顔を嬉  
しそうにのぞき込んでいました。

笑顔の連鎖が生まれました。

今回の台湾公演は、日本で公演を行うよりもずっ  
と難しい環境でした。しかも全プログラムを変え  
るという大きな挑戦の連続。  
そこで頂いた、皆さんの笑顔は私達に大きな自信  
を与えてくれました。  
「これでいいんだ」という確信も。

公演ごとに内容を変える勇気・柔軟性そして経  
験・言葉に頼らない心のコミュニケーション  
それらを生かして、今後より多くの方々に喜んで  
頂ける活動を推し進めて行きたいと思います。そ  
して、更に成長して台湾に帰りたい。

最後に、寺田からもご紹介させて頂きましたが  
我々の公演活動報告などはホームページでご覧頂  
く事が出来ます <http://cocorodama.web-crow.jp/>

【ワクワク・ドキドキ・感動は全ての人に与えら  
れた権利である】  
その想いを胸に、心魂プロジェクトは日本全国・  
海外にパフォーマンスをデリバリーして参りま  
す。どうぞ私達の活動を応援してください。  
よろしくお願い致します。

特定非営利活動法人 心魂プロジェクト  
代表理事 有永美奈子